

自らの健康寿命を延ばすために考え、 実践できる児童生徒の育成

～生涯に渡って健康の保持増進を希求するための

食と歯・口の健康づくりの実践を通して～

長野県富士見町立富士見小学校

育成する資質・能力（生活習慣改善力・健康課題発見力・健康寿命の共創力）に迫るために、子ども自ら「げんきをつくろう～自分から・おうちから・クラスから・地域から～『いい歯 いい口 いい気持ち』という見方・考え方を軸に探究し、オーラルケアからヘルスプロモーションにつながる教育実践・及びまちづくりへの参画・協働を期待する。その過程では、健康教育とつながる教科等横断的な学習が展開されている。

まちづくりへの参画・協働 (ヘルスプロモーション)

- 「パタカラ体操」を通した保小中交流や8020推進クラス等による地域の高齢者福祉施設・高齢者サロンとの交流
- 町内の企業と協働して全身健康につながる商品開発（アントレプレナーシップ教育）
- 町住民福祉課と協働したオーラルケアから健康寿命を延ばす生活習慣改善の呼びかけ

【町ぐるみの組織】

拡大推進委員会による
町内全小中学校発信の健康づくり
委員：校長・教頭・教務主任
研究主任・保健主事
養護教諭・栄養教諭
オブザーバー：教育委員会
保健福祉課



学校歯科医の講演会



パタカラ体操講演会



地域から

クラスから

お家から

自分から



子ども8020推進員の
高齢者クラブへの発信
(4年)



バイトスキャンによる
咀嚼関連データの収集



学校歯科医による
歯科講話(8020)



ヒマワリの種で
歯によいおやつを作ろう



保育園との交流
「はごろく」



県歯科衛生士の
歯科指導

健康教育

- ・食育
- ・保健教育
- ・安全教育

教科等横断的な 学習

【町ぐるみの健康教育とつながる教科等横断的な学習】

- 各校の「教科等横断的な学習研究部会」による教材研究と授業実践
- スマイルMFT®による「パタカラ体操」の活用
- 咀嚼計「bitescan（バイトスキャン）」の活用
- 松本歯科大学増田裕次先生の健康・食育講話からの学び
- 長野県歯科医師会「こども8020推進員育成事業」の活用
- 学校歯科医による歯科に関する講話
- 県歯科衛生士による歯科指導
- 町学校保健委員会による学校歯科医による教職員の研修会等の企画
- 循環型経済の上に立つアントレプレナーシップ教育の充実

【各学年の教科等横断的な学習】

- ・はがでてくるえ本を楽しもう(1年)
- ・ほおずき大ふくをたべてオーラルケアしよう!(2年)
- ・ヒマワリの種で歯によいおやつを作ろう!(3年)
- ・歯ッピー川柳をつくろう(4年)
- ・お口の健康のための昼ご飯(5年)
- ・災害時のオーラルケア(5年)
- ・メンマ・ラーメンを販売してオーラルフレイル予防(6年)
- ・歯ッピーチャレンジカード(全校)